



泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつぶやき
 正月休みは、暖かい部屋でじっくり本を読むのはいかがでしょうか？
 ホタル



新着・お薦め図書

泗水図書館

冬の光
 捨てる アンソロジー
 みがかヌかがみ
 図書室で暮らしたい
 挑戦する図書館
 きもの便利帖
 がれきのなかの小鳥
 はっきょいどーん

篠田節子 著
 大崎 梢他 著
 中里友香 著
 辻村深月 著
 大串夏身 著
 君野倫子 著
 カーリ・ビッセルス 作
 やまもとななこ 作

中央公民館

おとなの奈良 心を澄ます旅
 ベニシア心の旅 ベニシア・スタンリー・スミス
 とびきり小さなお馬さん そらまめ スエトシ牧場
 なりたい 畠中 恵
 地図と領土 ミシェル・ウエルベック
 ふまんがあります ヨシタケシンスケ
 もうぬげない ヨシタケシンスケ

堀内みさ 文
 スエトシ牧場 著
 畠中 恵 著
 ミシェル・ウエルベック 著
 ヨシタケシンスケ 作
 ヨシタケシンスケ 作

七城公民館図書室

名将真田幸村
 毎日食べなくなる絶品鍋
 桜ノ雨1~3
 ほねほねザウルス15 ぐるーぶ・アンモナイツ

童門冬二 著
 大庭英子 著
 halyosy 原作・原案
 作・絵

旭志公民館図書室

風かおる
 ラクマゴはんのコツほんとい旨い。ぜったい失敗しない。
 かいけつゾロリのようなかい大うんどうかい
 さかさま

葉室 麟 著
 瀬尾幸子 著
 原ゆたか 作・絵
 てるこ 作・絵

**第6回読書感想画・ブックレターコンクール
 ブックレター中学2年生の部**

金賞



それでも僕は夢を見る
 水野敬也 作

旭志中学校2年 齋藤斗明さん
 あなたは、夢を持っていますか。その夢に向かって努力は、していますか。しかし夢は、平気で僕たちを裏切ります。僕はこの本の主人公に共感できる部分があります。この主人公は自分が仕事をうまくできないとすぐにあきらめてしまいます。僕もうまくいかないことはやりたくないと思いつつも懸命取り組みません。でもこの本を見て、今生きてることが生きるそのものが輝きなんだと知りました。何度失敗しても何度挫折しても、生きてれば何度でもやり直せると知りました。生きてることにほこりを持ちたいです。この本を読んで、当たり前のことを当たり前にならざるようになりたしました。例えば野球の素振りなど基本の練習をしっかりとこつこつがんばろうと心掛けています。それからあいさつもしっかりするようになりたしました。この本は絵があって分かりやすく、読んで前向きな気持ちになれる本です。

耳より情報

桜の里菊池

~桜のメッセージ絵本をつくらう!~

世界に1つしかない桜の形をした絵本を作ってみませんか。
 テーマ 「私の好きなもの」
 と き 3月12日(土) 午後2時~4時30分
 ところ 市内図書館(室)
 申込期間 1月6日(水)から定員に達するまで
 定員 図書館(室)ごとに5人(先着順)
 申込方法 参加用紙に必要事項を記入し、参加したい図書館(室)にお申し込みください。
 ※小学3年生以下は保護者同伴で参加してください。
 ※作品は1カ月間、図書館(室)に展示します。



世界に一つだけの桜のメッセージ絵本

万句の里俳句会 11月例会

秋深し川の流れも静かなり 丸山美代子
 木履の歩の定まらず七五三 岩木 敬治
 老いの身に勉学つづく文化の日 隈部 輝子
 夕暮れて暮れざるものに石路の花 鋤本 トミ
 名刹の庭を広げて草紅葉 加藤 妙子

せせらぎ俳句会 11月例会

寄り添ひて祖父母参観秋日和 藤本アツ子
 柿むけば切れぬようにと孫の目が 服部 静子
 髪置や歩幅も合はぬ石の階 五丁 義昭
 濡れ落葉歩幅縮めて渡りけり 寺本 和子
 沈下橋渡れば紅葉更に濃し 藤本 邦治

旭志文芸教室俳句の会 11月詠草

我が統べる田に朝霧の立ちこめて 水谷 ミネ
 どんぐりの転がる径や通学路 芹川のり子
 就職の決まりし孫や秋うらら 中尾ヨシコ

肥後狂句桜会 11月例会

夕顔に事無きひと日告げにけり 芹川 蓉子
 勘の良さ 刑事より先イ来とる記者 田中 孝幸
 引つ込めて 値切る客には売らっさ 田中レイ子
 元気な嫁 一人増えたて思われん 高木 房恵
 さまあみれ 誰も見舞いにゃ現れん 高倉 新米
 さまあみれ 俺となら今令夫人 辻 弘喜

肥後狂句水笑会 11月例会

入社式 さすがチャパツは居らだつ 井手 水光
 た がっくり 辛づる式に賭博ばれ 続 義昭
 入社式 スーツが決まる時がきた 小崎 海美
 がっくり 頼りの綱のつつ切れて 平井 紅彩
 廣過ぎて 行き倒れした家ん中 山隈 好茶

七城短歌会 11月詠草

残暑尚つづく長月公園に狂うはいづれ桜咲きいる 嶋田 晴美
 研修は山都ゆ煮詰めるブルーベリーの甘酸っぱき匂い息づまらしむ 緒方 寛子

「里」短歌会 11月詠草

解かれゆく牛舎の傍え石路の咲きて見守る我も見まもる 木下 陽子
 一年を手掛けし苦勞の読みどおり鉢菊の花弁今にも開く 緒方 正俊
 入りつ陽が迎えてくれる散歩道おだしき今日を明日も祈りつ 高木 精

高齡者大学文芸部 11月歌会

ひとり言猫に聞かせて腰伸ばしのぼり框を丹念に拭く 山下 菊代
 デイケアに行くかどうかを思案せり行けば楽しき「水中歩行」 安東 綾子
 娘や孫と友にも分けむ秋茄子の豊かな実り楽しみながら 中原 光子

菊池短歌会 12月詠草

夫あらむこの世に生きて十余年今ひとたびの温き手のひら 中川 愛子
 言ひがたき想ひのるつば伸縮の自在ならざる人の現し身 怒留湯健蓉
 朝靄のなかに日輪射しこみて近より難き聖域のあり 林 まつ子
 孫の婚はや近づきて身支度をととのへし吾はうろろうとせり 村上さき江
 ゆふまぐれ軒を連なる干し柿に山里の秋深くなりけり 川口 幸臣

